

親子参加型×実践型 防災体験ツアーズ



時間	避難所開設訓練
8:00	地震発生・担当役員参集
9:00	一般参加者集合・挨拶・説明
9:10	親子参加、初心者向け 避難所運営体験 敷地内 (掲示板づくり、救命救護訓練、無線機、電話、水消火器、区割りなど日頃できないことを行います) 大人向け 災害時の調理体験
11:00	ワークショップ 開催場所 アリーナ(体育館)紙食器づくり (食器はありません各自の対応が必要です。スプーン等は必ずご持参ください。)
11:30	災害時の試食会
12:00	閉会予定(片付け・撤収)

10月17日(土)

日時・詳細

9:00~12:00 入場無料、予約無
晴天時は車両入場可能(車両受け入れ体験をします。)
雨天時実施(体育館内で開催)

会場

八千代市立みどりが丘小学校(緑が丘西3丁目)

避難にそなえて!

地震など災害時に備えた物品は必ずご自身で持参してください。
(持参してほしいのは、食事をするさいのスプーン、水分補給は必須です。スリッパや上履き、新聞)

主催:みどりが丘小学校防災運営委員会

(緑が丘西自治会、はぐみの杜中央自治会、クオンガーデン八千代緑が丘、仲木戸、エクセル、吉橋南からのボランティアと災害時の参集要員での組織です)
ワークショップ・プログラム提供:損保ジャパン(防災ジャパンプロジェクト)

みんなでやる防災体験ツアーズ 災害に備えて顔見知りを増やそう♪

1

避難所運営体験

学校の敷地内を回りミッションを体験しましょう。
災害時の多くのことが知ることができます。

避難所にはいろいろな難題が来ますので、ご家族で、子どもチームで考えてみましょう♪
主に親子対象としています。



車中避難受け入れ訓練実施

車両避難受け入れ体制確認訓練を実施しますので、車での入場可(晴天時のみ)

2

災害食を体験しよう!

【災害時は??】

避難所には、食べるときの食器が実はありません、まずは食器づくりをみんなでします。

【災害時の食べ物試食】

災害を想定した食事を調理してみます。さて何ができるでしょうか?



ぼうさい運動会開催

5月9日において、防災運営委員会において、学区中心の方々の参加による、第3回「ぼうさい運動会」を開催しました。250名ほどの地域の皆さんと、担当役員、市職員との関係構築を行いました。

みどりが丘小学校防災運営委員会は、地域の災害時の対応に役立てるために組織されている。ボランティア中心の組織で、市の参集要員の方も参加している団体です。



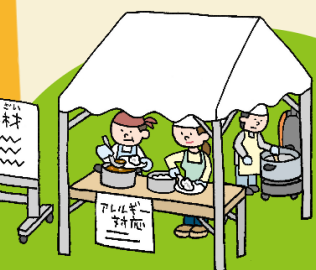
安心安全な
街を目指して

地域みなさんと「防災力」を
学ぶためのボランティアです。

10/17スタッフ 大募集

年齢 問いません! 報酬 みんなとスマイルが作れます。

※お子様をお連れでも可能です。



炊き出し訓練のため調理指導スタッフ(緊急時の調理を想定)

運営委員会のメンバーだけでは足りませんので、10/17のサポートスタッフ募集となります。

救急救命訓練のため医療系スタッフ(災害時の骨折等での救護を想定)



掲示板づくりのため総務・庶務・系スタッフ(災害時の現場リーダーを想定)



QRコードから参加申し込みをしていただくと大変助かります。



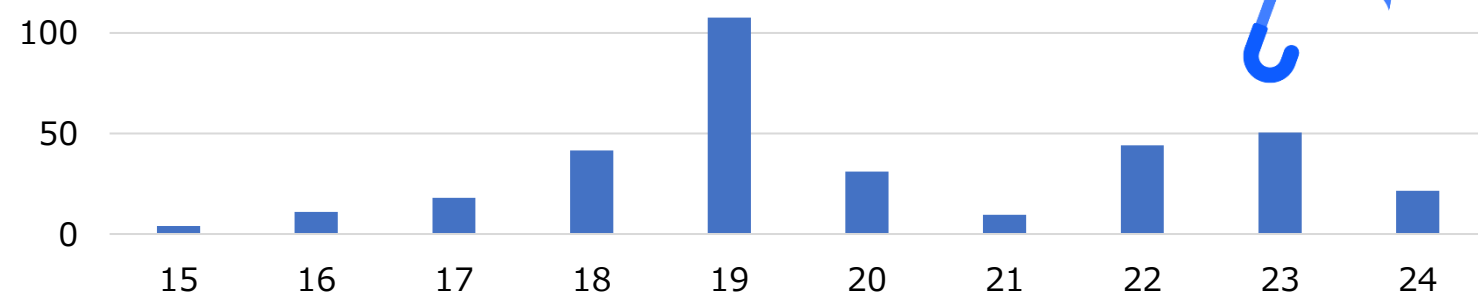
ご興味がある方は
お気軽にご連絡ください。

みどりが丘小学校防災運営委員会
midorigaokanishi2017@gmail.com

8月13日の豪雨災害について

○一時間当たり降水量(9/3千葉県発表、気象庁データより)

降水量(1時間単位降水量mm)



○豪雨時の主な警報・市・県の動きについて

17:02	18:15	19:00	19:20	19:30	19:40	20:00	2:00	5:00	5:15
レベル3 大雨警報	レベル4 大雨危険 警報	避難指示	災害対策 本部設置	レベル5 大雨危険 警報	避難所開設 (公民館)	緊急安全 確保指示	みどりが丘 小学校避難 所開設	県から自 衛隊に災 害要請	警報解除

○緑が丘西地区周辺の状況について



・18~19時

八千代緑が丘駅で、交通機関が麻痺してバス等が運行停止、タクシーは来れない状態で帰宅ができない方が駅に集まっていた状態となりました。



・2時

みどりが丘小学校においても避難所は開設され地区内でパトロールを実施。



・6時

翌朝では北東部近隣公園内のグランドなどは雨水により満水状態となっていました。

○八千代市の被害状況について

死者	1名(冠水した道路上で発見)
建物全壊	1棟
建物半壊	359棟
床上浸水	30棟
床下浸水	153棟
避難者	最大944名が避難

※県発表資料(第23報)より市内の被害



緑が丘西周辺においては県道が冠水によって複数の車両が放置せざろうえないケースが多く発生しました。



住宅等の被害は西地区では少なく、雨水管整備や浸透アスファルトなどもあり被害発生が抑えられたとも考えられます。

○災害に備えについて

豪雨災害においては、インフラの停止等が他のエリアでもございました。電気・ガス・水道が停止しても生活ができるような体制を各家庭でもバッテリーの確保や食料等の備蓄が必要です。避難所では備蓄はありますが、スマホの充電等はありませんし、ベットなどありませんので生活上の不便がつきまといますのでご注意ください。